

年間第四主日

2018.1.28

マルコ 1・21-28

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高神父

今年の年間主日を通して、わたしたちはマルコ福音書に記されている主イエス・キリストの足跡をたどり、新たな心でそのみ後に従うよう招かれています。

先週の日曜日、わたしたちはマルコ福音書によって伝えられた主イエスの最初のみことばを聴きました。「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。このみことばをもってマルコ福音書の中に登場するわたしたちの主イエス・キリストは、あの最初の時と同じように、ここに集うわたしたち一人ひとりに呼びかけておられます。このミサの中で、福音書の主のみことばを聴く時、わたしたちはその主イエスのみことばを、今日新たに、わたしたちに向けて語られる主のみことばとして聴くのです。

ミサの中に響く福音書に記された主イエス・キリストのみことばは、このミサに集うわたしたち一人ひとりにかけて語りかけておられる主の御声なのです。

「わたしに従いなさい」と主に呼びかけられたとき、ガリラヤ湖の漁師であった最初の弟子たちは全てをその場に置いて、主の後に従ったと先週の福音の中でわたしたちは聴きました。「悔い改めて福音を信じなさい」という呼びかけに答えるということはそのようなことです。わたしたちはカトリック教会の信仰の神秘の伝承の中で、わたしたちを招いておられる主が、どこにいてくださるかを知りました。そこからわたしたちを招いておられる主の呼び声に従うために、こうして、この寒さの中、わたしたちは日曜日の貴重な時間を犠牲にしてこのミサに駆けつけたのです。

わたしたちをここに呼び集めてくださった主は、弟子たちを神の国へと招くために進み行かれた道へと、わたしたちをも招こうとしておられます。福音書に記されたイエスが歩み行かれた道に従うことが、わたしたちの信仰の道なのです。そして、主イエスに従って歩むその道において、わたしたちは主イエス・キリストがわたしたちを開いて見せてくださる神の国に招き入れられるのです。ここに呼び集められたわたしたちはそのような道を歩む者たちとして、このミサに集っているのです。

今日の福音は、安息日の会堂で教えを宣べる主イエスのもとへとわたしたちを招いています。そしてその主イエス・キリストはあの会堂に立たれた主として、今日のミサの中で、わたしたちに語りかけてくださるのです。イエスの教

えを聴いた人々は、その教えの中に響く権威に圧倒され、驚いたと語られています。イエスのみことばには、神から遣わされた者としての権威が現れていたからです。

あの会堂でイエスのみことばに耳を傾けた人々のように、わたしたちは福音書を通して語りかける主イエスのみことばを、わたしたちに語りかける神のみことばとして聴くのです。神のみことばは、天地創造の始めからそうであったように、神が望まれることをわたしたちの中に実現していきます。「光あれ」というあの最初のみことばによって、この世界に光がもたらされたように、わたしたちの中に主イエス・キリストによって神がもたらそうとしておられる信仰の光が灯されていくのです。「悔い改めて福音を信じなさい」との主の呼びかけは、その光に向かってわたしたちを招く主イエスの招きのみことばなのです。

あの安息日の会堂に汚れた霊に取り憑かれた人がいたと今日の福音は語り続けます。あの会堂に汚れた霊に取り憑かれた人がいたことは決して偶然のことではありません。主のみことばを聴く時、わたしたちの中の汚れた霊、この世に生きるわたしたちの中に潜んで、わたしたちを束縛している汚れた霊の正体が露わにされるのです。

「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。お前の正体は分かっている。神の聖者だ」とあの人の中で汚れた霊は叫んだと語られています。わたしたちのうちに潜み、わたしたちを束縛している汚れた霊も、このように叫ぶのです。イエスがどのようなお方であるかを知っていながら、わたしたちのうちに潜む汚れた霊は、決して、そのイエスのみ後に従ってついで行こうとはしません。むしろ、「かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか」と叫びたてるのです。そのような汚れた霊に取り憑かれていることを、わたしたちは自分自身のうちに感じています。主イエスのみことばを聴く時、その場では分かっているつもりでも、その主のみことばに従っているとはいえないわたしたちがいるからです。

「黙れ。この人から出て行け」、あの安息日の会堂で、このように汚れた霊にお命じになった、主イエスがこのミサの場においても、わたしたちのうちに潜む汚れた霊を追い払ってくださるように願いましょう。汚れた霊は、あの人を痙攣させ、大声を上げて出て行ったと語られています。そのことが、わたしたちにとって、どんなに苦しいことであっても、心の底からイエスを信じ、そのみ後につき従う信仰の道へと歩み出すことができるために、わたしたちの内なる汚れた霊から清めていただくことを願って、このミサをおささげしましょう。